

第2回

GREEN × EXPO 2027 交通円滑化推進会議

日時：2026年6月11日（木）16:00～

場所：横浜市役所（31階 レセプションルーム）

【報告】これまでの検討状況

1. TDMの目標等
2. 「GREEN×EXPO 2027 TDMパートナー」登録制度
3. TDMトライアルの概要

【共有】今後の進め方

【報告】

これまでの検討状況

【報告】これまでの検討状況

2025年12月23日

第1回 GREEN×EXPO 2027 交通円滑化推進会議

- ・ 会議の設置
- ・ TDMの必要性
- ・ 今後の進め方

2026年1月23日

GREEN×EXPO 2027 交通円滑化推進会議第1回幹事会

- ・ 道路及び鉄道の状況
- ・ **目標設定**
- ・ **取組内容**と企業への働きかけ

2026年3月26日

GREEN×EXPO 2027 交通円滑化推進会議第2回幹事会

- ・ 交通円滑化に向けた取組
- ・ 会場周辺道路の利用状況（OD調査）
- ・ **目標設定**
- ・ **呼びかける範囲の設定**
- ・ **取組時期**

2026年6月3日

GREEN×EXPO 2027 交通円滑化推進会議第3回幹事会

- ・ **取組時期**
- ・ 取組効果の検証方法
- ・ **呼びかける範囲の設定**
- ・ 「**GREEN×EXPO 2027 TDMパートナー**」登録制度の立ち上げ
- ・ **TDMトライアル**

2026年6月11日（本日）

第2回 GREEN×EXPO 2027 交通円滑化推進会議

1

TDMの目標等

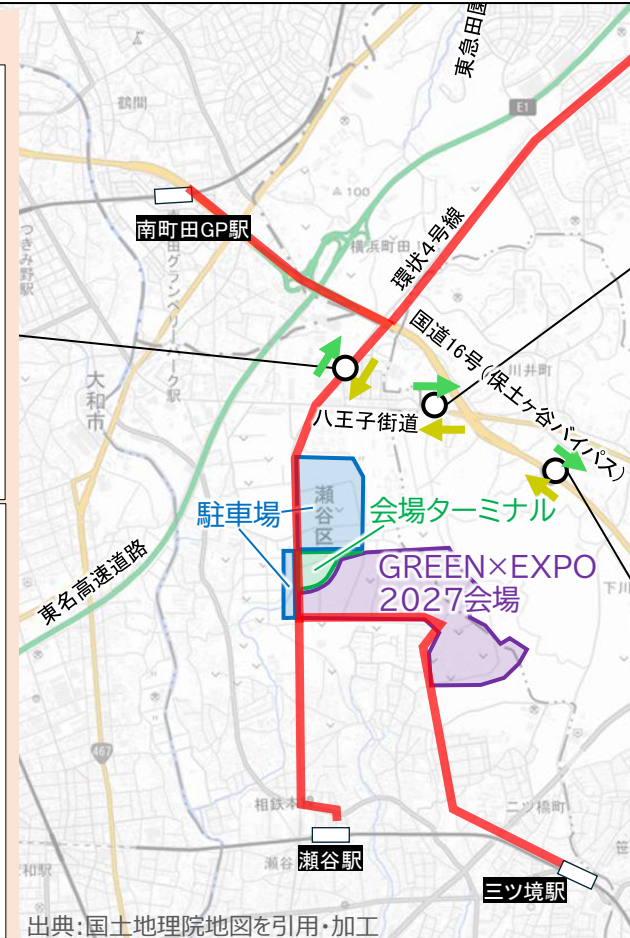
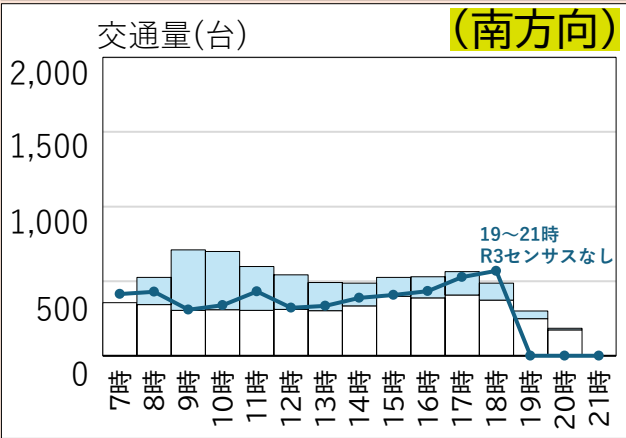
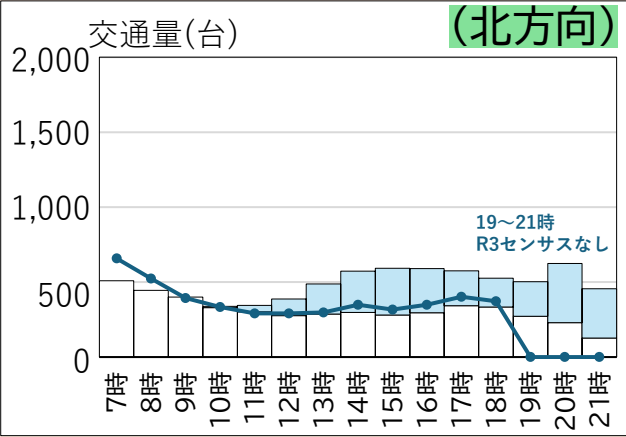
1. TDMの目標等

開催期間中の会場周辺の交通状況（道路）

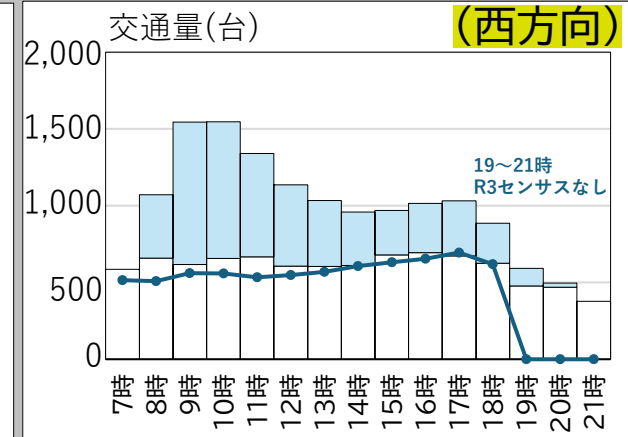
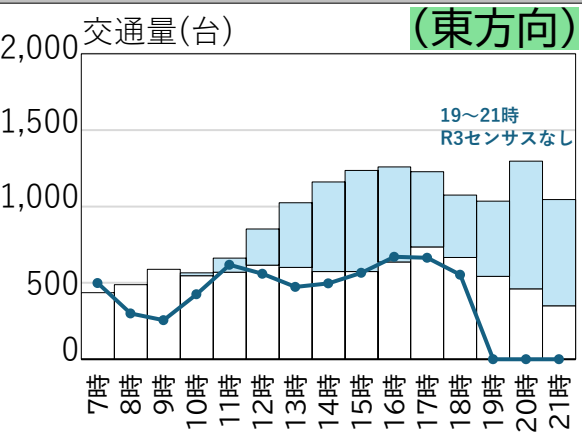


- 期間中は、各路線で現況の時間最大交通量を超える交通量となることが予測される。
- 特に、環状4号線と八王子街道では来場者交通の影響が大きい。

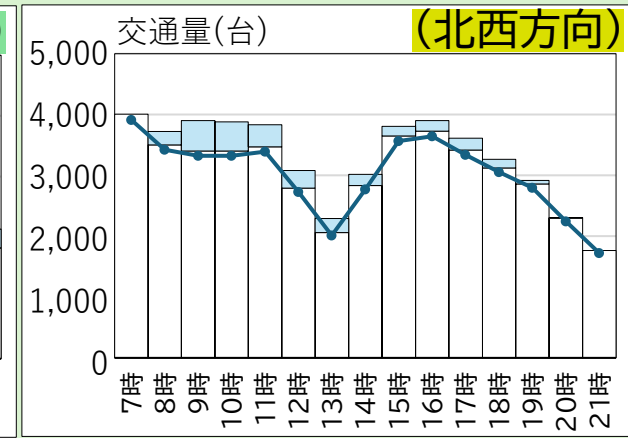
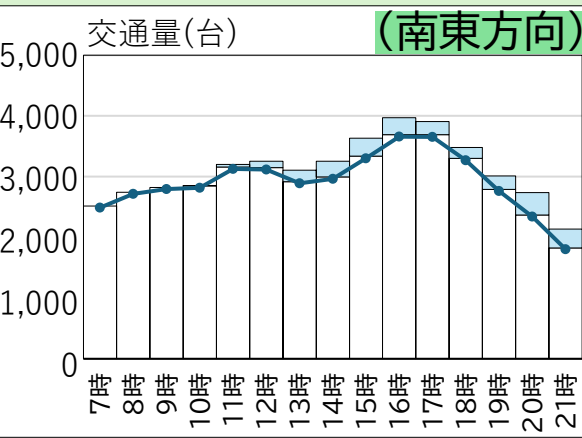
環状4号線



八王子街道 ※2車線⇒4車線に拡幅



国道16号(保土ケ谷バイパス)



凡例

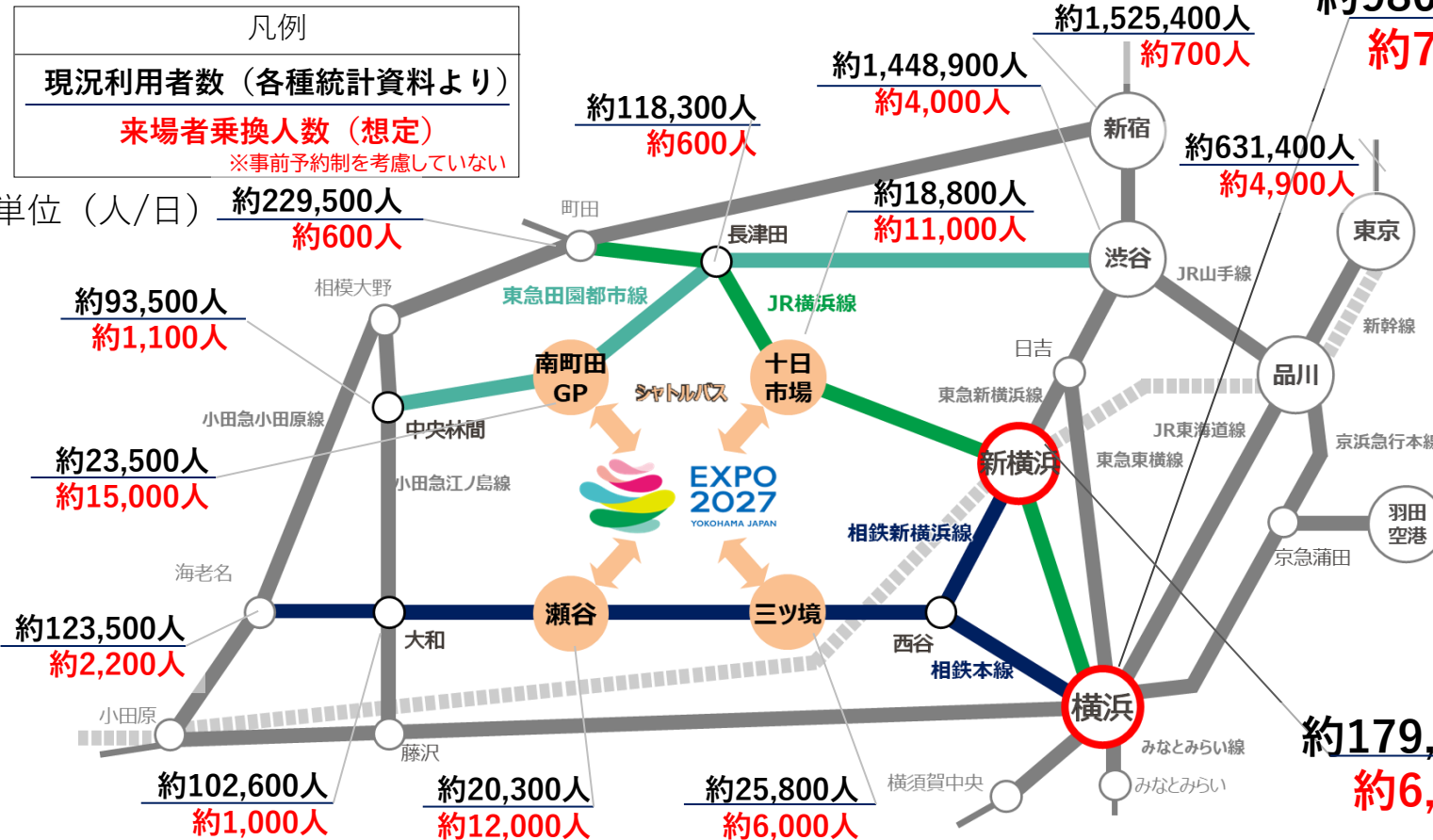
- ↑ 上り
- ↓ 下り
- GEX交通量(推計値) ※事前予約制を考慮していない
- 一般交通量(推計値)
- R3センサス
- シャトルバスルート

※グラフのグリーンエクスポ（GEX）交通量は繁忙期の推計値。自家用車のみで4駅シャトルバス、団体バスは含まない

1. TDMの目標等

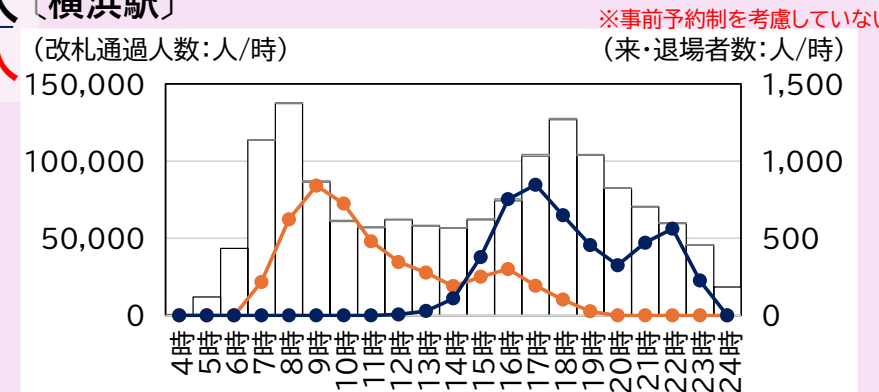
- シャトルバスによる来場者の多くは、横浜駅または新横浜駅で乗り換えると想定されている。
- 両駅は、日常的な利用者が多く、さらに来場者の乗換利用が加わると乗換動線が錯綜する可能性がある。

■来場者の駅別乗換人数（想定）【繁忙期】

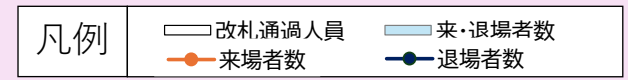
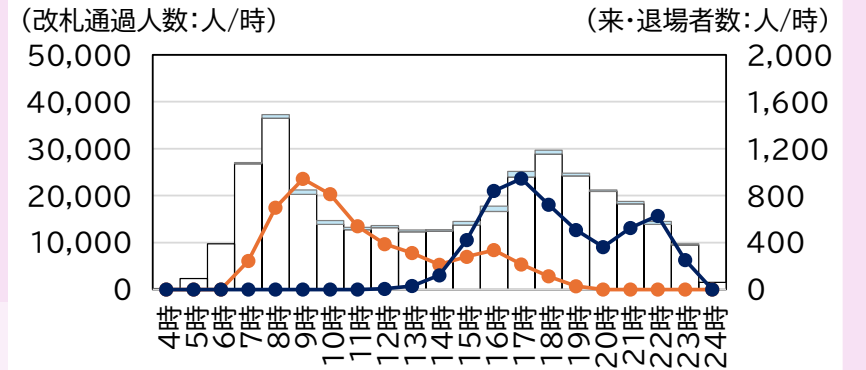


■横浜駅／新横浜駅利用者数

【通常期 平日(GW・夏休み 以降)】



〔新横浜駅〕



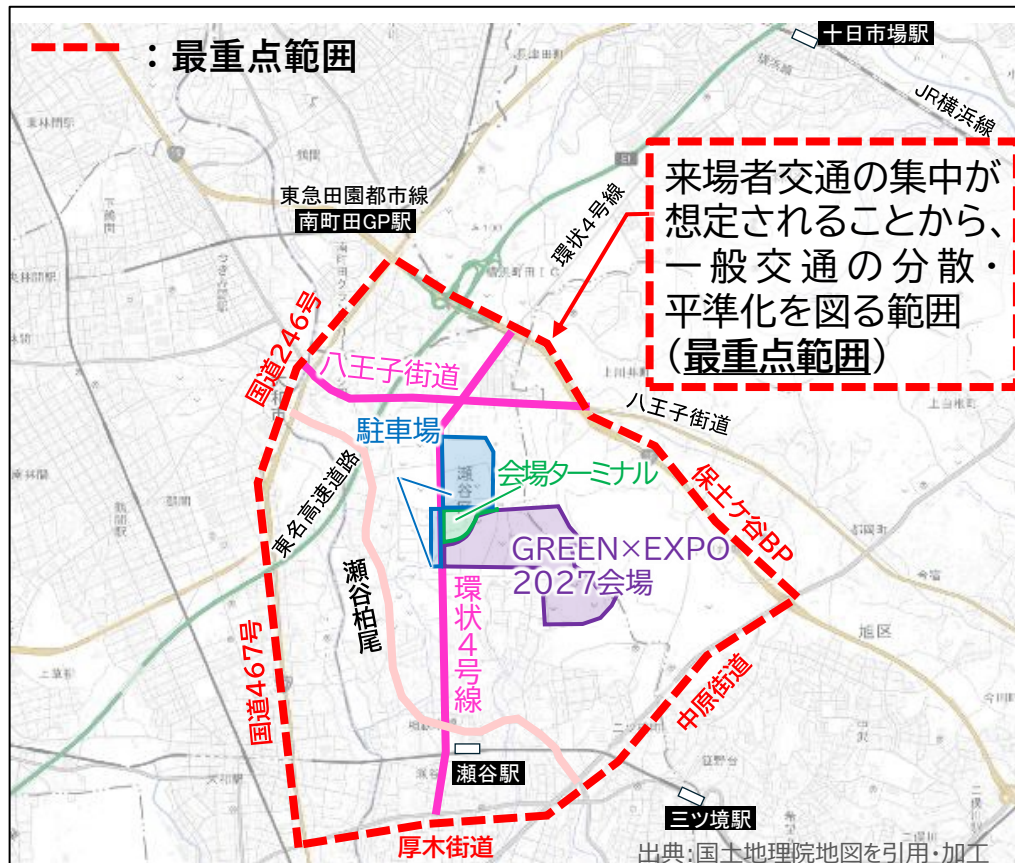
※乗車人員（平均）
※重複あり（例：新宿⇒渋谷⇒長津田⇒十日市場は各駅にてカウント）

※改札通過人数は、乗り入れ路線の合計の2026/3/19～3/25期間の日平均

1. TDMの目標等

道路の目標設定

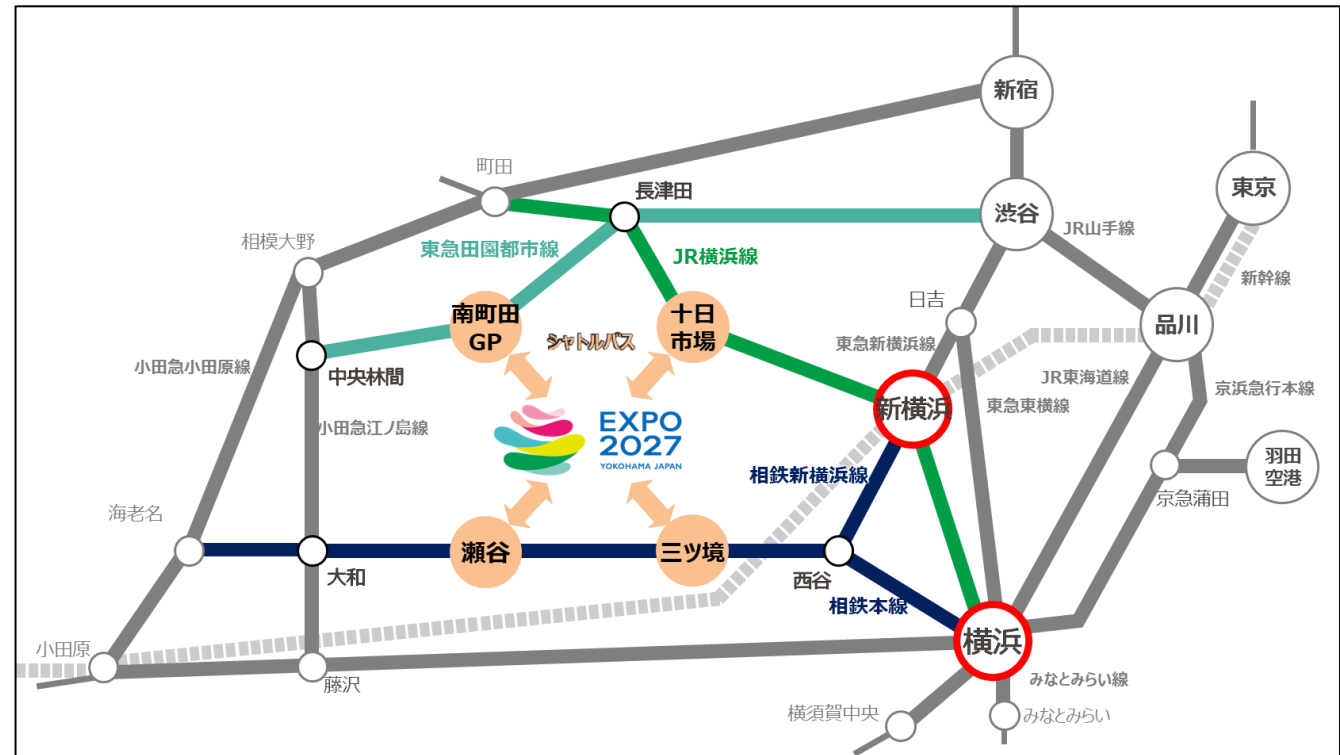
主要ルートとなる八王子街道や環状4号線の道路混雑により、日常の交通への影響が懸念されることから、**会場周辺の混雑を現況より増大させない**



目標の達成状況を検証する指標：平均旅行速度

鉄道の目標設定

乗換駅である**横浜駅、新横浜駅**などにおける乗換動線が錯綜し、利便性や安全性が損なわれる可能性があることから、**駅における乗換利便性を低下させない**



目標の達成状況を検証する指標：通路の混雑度
乗り換え所要時間

■GREEN×EXPO 2027 TDMにおいて協力を呼びかける取組内容



① 移動量・配送量を削減

効果 人や物の移動総量を抑制することで、交通需要の発生を減らし、混雑を緩和する。

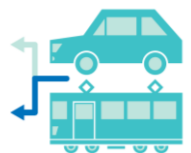
- ・テレワーク・在宅勤務の実施
- ・会議をオンラインで実施
- ・計画的な休暇の取得
- ・荷物や書類の受取・発送頻度の低減・集約



② 混雑時期・時間帯を回避

効果 交通需要の時間的な集中を分散することで、ピーク時の混雑を緩和する。

- ・時差出勤・フレックスの実施
- ・打合せなどの際の混雑時間を避けた移動
- ・荷物の配送の際の混雑時間を避けた移動
- ・混雑時間帯を避けた、荷物や書類の受取・発送



③ 混雑場所・ルートを回避

効果 特定の混雑箇所への交通集中を回避することで、局所的な混雑を緩和する。

- ・会場周辺道路を避けたルート選択
- ・会場周辺道路を避けて移動できるサテライトオフィスの活用
- ・会場周辺道路を避けて移動できる倉庫など施設の活用
- ・鉄道（横浜駅・新横浜駅を除く）、バス、自転車、徒歩などへの手段変更
- ・横浜駅・新横浜駅を避けたルート・利用駅の変更
- ・横浜駅・新横浜駅を避けて移動できるサテライトオフィスの活用



④ 交通阻害の低減

効果 路上停車や路上駐車を減らすことで、道路交通の円滑化を図る。

- ・路上停車・駐車の低減

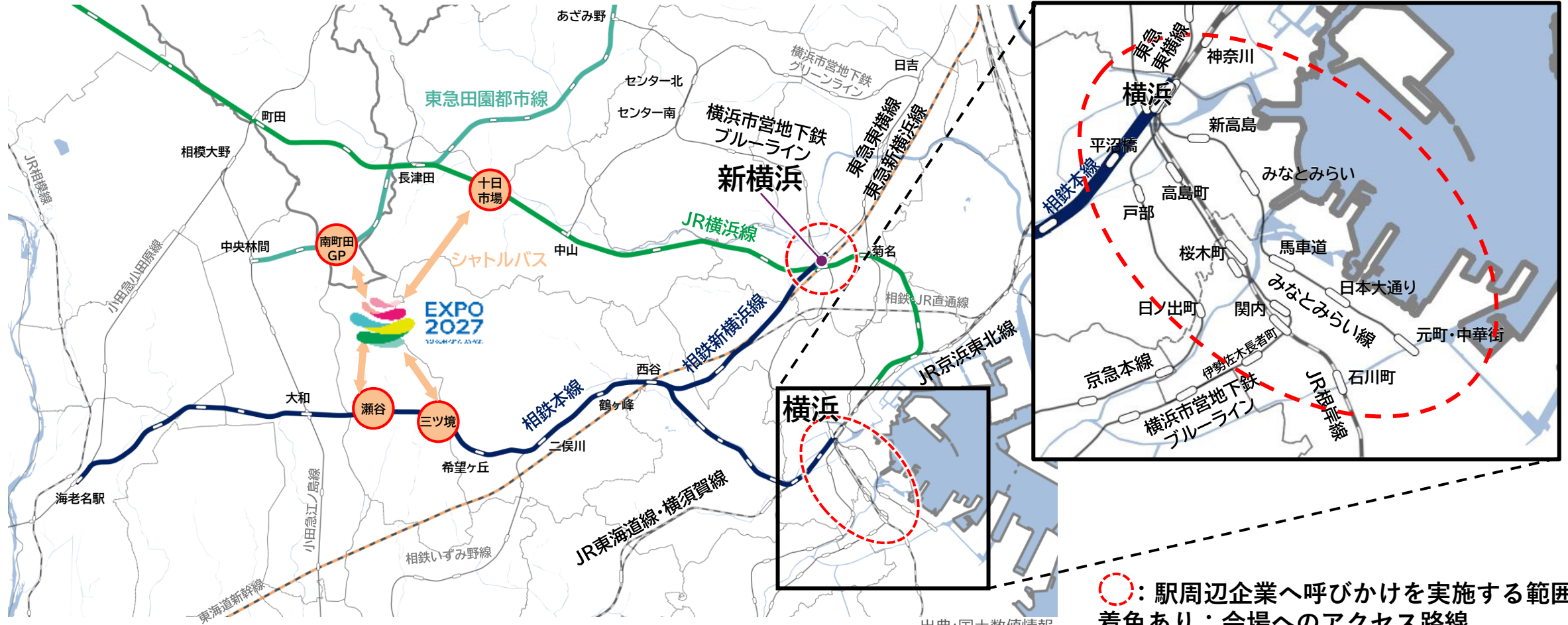
1. TDMの目標等

TDM重点呼びかけ範囲の設定（鉄道）



- 横浜駅・新横浜駅を利用する通勤利用者の多くの勤務先が立地する両駅周辺エリアにおいて、企業等に対し、重点的にTDMへの協力を呼びかける。
- 来場者の利用が見込まれるアクセス路線の駅や車両広告を活用した周知に加え、より広い範囲での呼びかけについても今後検討する。

■ TDM重点呼びかけ範囲（鉄道）



1. TDMの目標等

呼びかけ期間・強さの設定



- 会場周辺道路の状況や来場者数を踏まえ、特にご協力を呼びかける期間を「GW」「お盆」「会期終盤（9月）」とし、閉幕までの残り2週間は更に強く呼びかける期間とする。
- 呼びかけ期間・強さは、今後の来場者の予約状況に応じて柔軟に対応する。

■呼びかけ期間・強さ設定案

2027年 3月							2027年 4月							2027年 5月							2027年 6月							2027年 7月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
											1	2	3							1			1	2	3	4	5					1	2	3
							4	5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10
							11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17
					19	20	18	19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24
21	22	23	24	25	26	27	25	26	27	28	29	30	31	23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31
28	29	30	31											30	31																			

2027年 8月							2027年 9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						7				1	2	3	4
1	2	3	4	5	6	7	5	6	7	8	9	10	11
8	9	10	11	12	13	14	12	13	14	15	16	17	18
15	16	17	18	19	20	21	19	20	21	22	23	24	25
22	23	24	25	26	27	28	26						
29	30	31											

呼びかけ期間		来場者特性に応じた4区分	
①	GW [4月24日~5月9日]	呼びかけ	平日 GWを除く夏休みまで 5.0万人/日 80日
②	お盆 [8月7日~8月15日]	呼びかけ	平日 GW及び夏休み以降 5.6万人/日 47日
③	会期末 [9月1日~9月10日]	呼びかけ	土休日 繁忙期を除く 7.9万人/日 46日
④	会期末 [9月11日~9月26日]	強く呼びかけ	繁忙期 GW・9月等土休日 10.5万人/日 19日

2

「GREEN × EXPO 2027 TDMパートナー」登録制度

2. 「GREEN×EXPO 2027 TDMパートナー」登録制度



○TDMにご協力いただける企業や団体を「GREEN×EXPO 2027 TDMパートナー」として登録する制度を2026年6月12日から開始し、TDMの取組を促進する。

■ 「GREEN×EXPO 2027 TDMパートナー」登録制度の概要

【登録条件】

GREEN×EXPO 2027開催期間中に交通混雑の緩和につながる取組にご賛同いただける企業・団体

【登録期間】

2026年6月12日(金)～2027年9月26日(会期末)

※専用ホームページから登録

【登録のメリット】

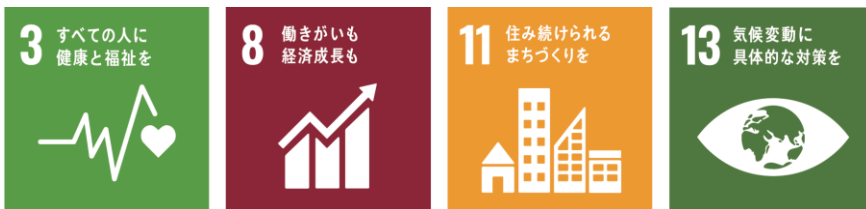
①交通混雑が把握可能

メールでの配信で交通混雑予測情報が届く

②企業イメージが向上

HPにて取組み企業名を公表

③SDGsの実現に貢献



※今後、登録企業・団体へのインセンティブ等を検討

GREEN×EXPO 2027 TDMの先導的事例紹介

- ・会場周辺道路の混雑により、周辺エリアの配送遅延や配送効率の低下などの影響が懸念される。
- ・影響を受ける営業所や配送センターは4箇所想定され、関連するトラックは40台程度となる。

「モノの流れ」の最適化によるアプローチ

混雑区間を避けたルート設定



混雑予想区間を回避した迂回ルートの積極的活用により、渋滞への巻き込まれおよび周辺渋滞悪化を防止します。

ピーク回避の時間指定



会場周辺エリアにおける、交通ピーク時間帯を避けた配達時間指定の推奨と、お客様へのご協力の呼びかけを実施します。

再配達削減



受取方法の多様化や事前通知による確実な受け渡しを通じ、該当エリア内を走行するトラックの稼働総量を抑制します。

路上停車・駐車削減



配送ルートやオペレーションの最適化を図ることで、交通のボトルネックとなる路上で荷さばき停車や駐車を極小化し、交通流を維持します。

検討している項目 「来場者を含む駅利用者の利便性向上策」

近隣駅での手荷物預かりサービス



主要駅におけるスーツケース等の大型手荷物一時預かりを実施します。来場者の「手ぶら観光」を支援するとともに、公共交通機関内や周辺歩道の空間を確保し、混雑緩和に寄与します。

GREEN×EXPO 2027 における当社のTDMへの取り組みについて <ヒトの流れに対する取り組み>



在宅勤務やサテライトオフィス等の活用

「どこでも働ける」柔軟な働き方を推進し
会場周辺等の移動量を削減します

～当社制度について～

- ・テレワーク回数上限
なし
- ・テレワーク勤務地
自宅やカフェ等のほか、
「OFFICE PASS (日本経済新聞社)」
提携の全国のシェアオフィスで勤務可能

フレックスタイム制の活用

来場のピーク時間を避けた出社により
交通混雑の緩和に貢献します

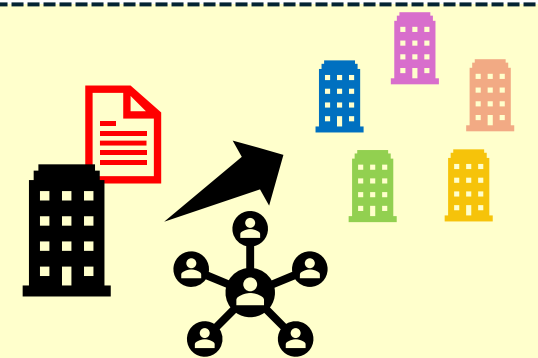
～当社制度について～

- ・フレキシブルタイム
7:00～22:00 (コアタイム:2H)
- ・標準労働時間
7時間/1日
- ・その他
中抜けも可能

活用例	通常勤務
8:30	通勤
9:30	
11:00	仕事
12:00	
13:00	休憩
15:30	
16:30	仕事
17:30	
18:30	退勤
20:00	
21:00	

相鉄グループへの呼びかけ

相鉄グループの先導役として
相鉄グループに
TDMへの協力を呼びかけます



GREEN × EXPO2027開催期間中の影響予測

横浜駅・新横浜駅周辺
5 事業所への通勤

道路混雑予想エリア周辺
14 事業所への物流

混雑予想道路を利用する
自社センターへの納品

ヒトの流れに関する取組

迂回ルートを選択と支援

- ・横浜駅・新横浜駅を迂回する通勤ルートの推奨
- ・迂回ルートを選択した従業員に交通費を実費支給

オフピーク出勤の推奨

- ・時差出勤で混雑時間帯を回避

会議の効率化と合理化

- ・各種会議の開催回数を削減
- ・会議のリモート化推進

モノの流れに関する取組

納品車両の使用頻度削減

- ・納品タイミングをまとめ、積載量をあげ頻度を削減する

納品時間の柔軟な変更

- ・オフピーク納品を進め、お店への納品時間を柔軟に変更し混雑緩和を図る

混雑情報の共有と迂回

- ・道路の混雑状況を収集し、ドライバーの方々にオンタイムで共有

お取引先様との協業

納品受付時間の柔軟性

- ・お取引様と協議し、物流センターへの納品受付を混雑状況に合わせて柔軟に対応

納品回数の削減

- ・食品以外の納品日をまとめ、配送回数を削減
必要に応じて自社センターでストック

混雑情報の共有と迂回

- ・オンタイムでの情報共有

所在地：横浜市西区高島一丁目2番5号 横濱ゲートタワー | 業種：自動車・輸送用機械器具製造業
横浜本社勤務者数：約2,700名（関連会社等を含む）

課題認識

横浜本社は、横浜駅の利用者数が多いため、開催期間中の駅混雑を踏まえ、通勤時間帯の分散等に取り組む必要があります。通勤ピーク時間帯における横浜駅利用者の集中を回避し、役員・従業員の通勤移動の抑制と通勤時間帯の分散を図ることを主な課題としています。

取組コンセプト設定の根拠

横浜駅利用者が多いことに加え、業務内容により在宅勤務・時差出勤・WEB会議等の活用余地が異なるため、「情報提供」「働き方制度の活用」「業務特性に応じた協力」の3方向から、実施可能な範囲で通勤移動の抑制・ピーク分散を図ります。

取組コンセプト

【知る】
AIを活用した混雑予測
と情報提供

×

【ずらす／減らす】
働き方に関する制度
の活用促進

×

【協力する】
業務特性に応じた協力促進

主な検討施策

各職場の業務特性を踏まえ、既存制度の活用と社内への情報提供を通じて、役員・従業員の混雑回避行動を後押しします。物流・配送への影響についても、関係部門と連携し、交通情報の共有や各種対応の検討を進めます。

【知る：情報提供施策】

- 1 AI混雑予測情報の社内周知**
社内のお社データを分析し、お社が多い日・時間帯をわかりやすく周知し、役員・従業員の混雑回避行動を促します。
- 2 駅周辺混雑予測の社内周知**
横浜市等の情報を踏まえ、駅周辺の混雑が見込まれる期間・時間帯を社内に周知し、混雑回避行動を促します。

【ずらす／減らす：働き方制度活用】

- 3 在宅勤務の活用促進**
業務上可能な場合には、既存の在宅勤務制度を活用し、通勤移動の抑制を図ります。
- 4 フレックス勤務・時差出勤の促進**
既存のフレックス勤務制度を活用し、通勤ピークを避けた出退勤を促します。

【協力する：業務調整・協力】

- 5 WEB会議・オンライン対応の活用**
社内外の会議・打合せについて、WEB会議を活用し、移動機会の抑制に努めます。
- 6 来客・社内イベント等の配慮**
混雑が見込まれる期間は、来客対応や社内イベントの開催方法・時期を必要に応じて検討します。
- 7 物流への影響確認**
会場周辺道路の混雑に伴う輸送・配送等への影響について、関係部門と連携し、交通情報の共有と対応を検討します。

横浜市に本社を置く企業として、GREEN×EXPO 2027開催期間中の交通混雑緩和に向け、実施可能な範囲でTDMの取組検討を進めてまいります。

※上記以外にも横浜市からの情報やトライアル結果および実態等を踏まえ、さらなる対応の検討を進めてまいります。

3

TDM トライアルの概要

3. TDMトライアルの概要

- 非常に多くの来場が予測されている会期終盤の1年前に当たる今年の9月にTDMトライアルを実施する。
- 実際にTDMを実施し、取組状況や課題等を検証する。また、TDMトライアルの周知により「GREEN×EXPO 2027 TDM」の認知度向上を図る。

■TDMトライアルの概要

【対象】

- ・TDMパートナー企業
 - ・国、神奈川県、横浜市、GREEN×EXPO協会
- ※道路上や駅等において周知を行い、上記対象以外の方の参加も促す

【取組内容】

- 道路：外周道路を含む最重点範囲の迂回、
 もしくは混雑する時間・方向を避けた通行等の取組
- 鉄道：横浜駅・新横浜駅のピーク時間を避ける取組

【TDMトライアル期間】

2026年9月7日(月)～13日(日)

【検証内容】

- ・TDMパートナー企業、官公庁、一般利用者のTDM認知状況・取組状況(アンケートの実施により把握)
- ・TDMトライアル期間の交通状況
 - 道路：平均旅行速度、交通量
 - 鉄道：横浜駅及び新横浜駅の通路の混雑度

TDMトライアル期間 (2026.9.7～9.13)

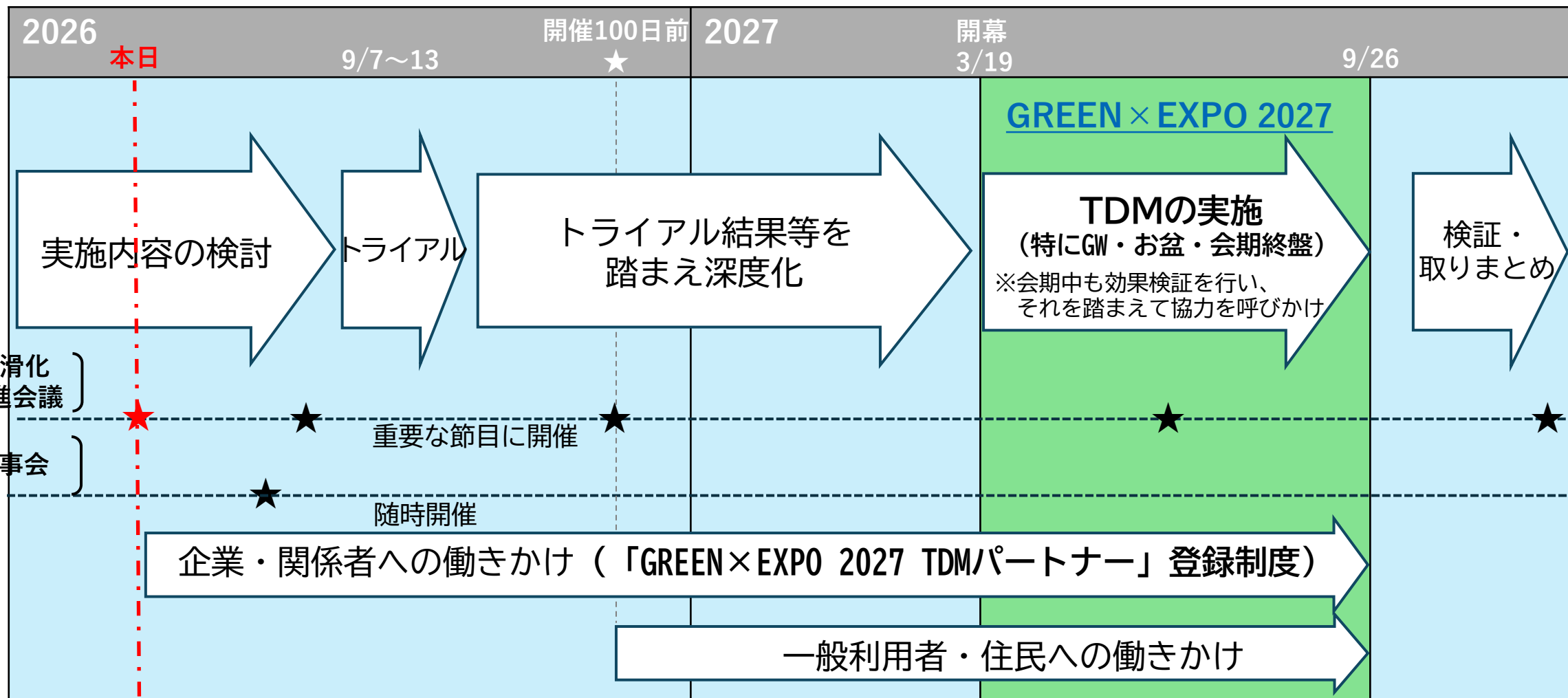
月	火	水	木	金	土	日
8/31	9/1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

【共有】

今後の進め方

【共有】今後の進め方

- 9月にTDMトライアルを実施し、その効果検証を通じて取組内容の深度化を図る。
- 「GREEN×EXPO 2027 TDMパートナー」登録を促す周知広報を行うとともに、開幕100日前を目途に一般利用者・住民への働きかけを開始する。





EXPO
2027
YOKOHAMA JAPAN